

2021/10/08 (予定) 機能追加

資産コードを自動で付番したい 他 8 件

目次

- 資産情報
 - 資産コードを自動で付番したい
 - 資本的支出を「取得価額の特例」を利用して減価償却費を計算したい
 - 税務と会計で別々に減価償却費を計算したい
 - 一部除却・一部移動の画面デザインを変更
 - 履歴情報の画面デザインを変更
- 部門
 - 部門の独自形式のファイルを、そのまま受け入れできます
- プロジェクト
 - 資産のプロジェクト・工程を管理したい
- 奉行連携
 - 【仕訳連動初期設定】画面のデザインを変更
- 事業年度
 - 新しい事業年度からの並びに変更

資産情報

資産コードを自動で付番したい

資産勘定科目ごとなど独自のルールで付番できるようになりました。

追加メニュー

【資産管理 - 資産情報 - 資産情報入力補助 - 次回付番資産コード】メニュー

【資産管理 - 資産情報 - 資産情報入力補助 - 資産コード再付番】メニュー

対応メニュー

【法人情報 - 経理規程 - 経理業務設定】メニュー

資本的支出を「取得価額の特例」を利用して減価償却費を計算したい

資本的支出の初年度は本体とは別に減価償却費を計算し、取得2年目から本体と合算して減価償却費を計算する「取得価額の特例」の登録ができるようになりました。法人税は合算されて申告されますが、固定資産税は個別に申告されます。

対応メニュー

[法人情報 - 経理規程 - 経理業務設定] メニュー
[資産管理 - 資産情報 - 資産情報 - 資産情報] メニュー
[資産管理 - 資産情報 - 資産情報 - 資産情報一括登録] メニュー

税務と会計で別々に減価償却費を計算したい

償却方法（会計）・耐用年数（会計）など会計の減価償却費を計算するための項目が追加されました。

使用できる条件

『Sシステム』をご利用の場合

対応メニュー

[法人情報 - 経理規程 - 経理業務設定] メニュー
[法人情報 - 経理規程 - 勘定科目 - 資産勘定科目] メニュー
[資産管理 - 資産情報 - 資産情報 - 資産情報] メニュー
[資産管理 - 資産情報 - 資産情報 - 資産情報一括登録] メニュー
[資産管理 - 資産情報 - 資産情報 - 資産情報リスト] メニュー
[資産管理 - 資産情報 - 資産情報 - 資産情報台帳] メニュー
[資産管理 - 資産情報 - リース資産情報 - リース資産情報] メニュー
[資産管理 - 資産情報 - リース資産情報 - リース資産情報一括登録] メニュー
[資産管理 - 資産情報 - リース資産情報 - リース資産情報リスト] メニュー
[資産管理 - 資産情報 - リース資産情報 - リース資産情報台帳] メニュー
[資産管理 - 管理帳票 - 固定資産台帳 - 固定資産台帳] メニュー
[資産管理 - 管理帳票 - 固定資産台帳 - 固定資産台帳レイアウト] メニュー
[資産管理 - 管理帳票 - 予定表 - 償却予定表] メニュー

一部除却・一部移動の画面デザインを変更

資産の分割時に入力していた分割先資産コードは、分割後に入力するようになり操作性が向上しました。

変更前

分割先資産	分割元資産
コード	00000200100-001
数量	2 台
取得価額	511,560
期首帳簿価額	426,300
当期償却額	170,520
期末帳簿価額	255,780
償却累計額	255,780

変更後

分割先資産	分割元資産
コード	00000200100-001
数量	2 台
取得価額	511,560
期首帳簿価額	426,300
当期償却額	170,520
期末帳簿価額	255,780
償却累計額	383,670

対応メニュー

[資産管理 - 資産情報 - 資産情報 - 資産情報] メニュー
[資産管理 - 資産情報 - リース資産情報 - リース資産情報] メニュー（『Sシステム』をご利用の場合）

履歴情報の画面デザインを変更

以下の履歴情報のデザインを変更しました。

- 移動履歴情報（[移動] ページ）
- 遊休履歴情報（[遊休] ページ）
- 償却方法変更履歴情報（[償却方法変更] ページ）

変更前

変更後

対応メニュー

〔資産管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 仕訳伝票初期設定〕メニュー

事業年度

新しい事業年度からの並びに変更

〔事業年度更新〕画面で、新しい事業年度が一番上に表示されます。

対応メニュー

〔決算処理 - 事業年度 - 事業年度更新〕メニュー

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。